

CEO 通信 第 8 号 をお届けします。

一般社団法人サーキュラーエコノミー推進機構（CEO; Circular Economy Organization）の進捗状況についてご報告します。

まず、CEOの更なる人財育成貢献に向けて、アドバイザーボードとして現在、東京大学、京都大学、大阪大学、東北大学、筑波大学、慶應大学、早稲田大学、広島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、更に国立研究開発法人 物質・材料研究機構も加わり、**8大学と国立研究開発法人の2機構**で、ご協力を頂いております。

また、理事会員として4月から新たに、**全日本空輸株式会社と SOMPO ホールディングス株式会社**がメンバーに加わり、日本航空株式会社、アクセンチュア株式会社、株式会社 NTT データはじめ大手 22 社となりました。

HP : <https://ceoc.or.jp>

次に、真のデータサイエンティスト人財育成をめざす CEO プログラムの研修もお陰様で順調に進んでおり、前期 8 月からの研修に続いて後期として 1 月から順次、研修プログラムが理事会員の皆様のご協力を得てスタートし、その成果が出てきています。

そこで、今回の CEO 通信では、**JX 金属株式会社様の CEO プログラム研修**についてご紹介いたします。

アドバイザーボードの山敷庸亮教授(京都大学大学院総合生存学館副学館長)よりご推薦いただいた**高橋朝晴さん(京都大学大学院総合生存学館)**が CEO プログラム研修を終え、最終発表会が、3 月 26 日、JX 金属本社会議室で開催されました。

大井滋代表取締役社長はじめ副社長技術本部長や役員、CEO 責任者、研修指導者、会社選抜の若手社員など 20 名が参加し見守る中、高橋さんの発表が行われました。

山敷先生には、ご推薦いただいたときに「高橋君は国連の機関などで仕事をしてきた経験もあり、多言語を操る人材で大変意欲的で優秀な人物」とのコメントを頂いていました。

高橋さんは比較教育学専攻の大学院生となります。まずは研修スタート前に Python を習得することからはじめましたがすぐにマスターし、指導者によると、その進化は早く、研修テーマである燃焼炉の燃料効率への取り組みに関しても想像以上の成果をだした、との高い評価でした。

最終発表の燃焼効率予測の結果とその成果及びプレゼン能力は素晴らしいものでした。

今年の 3 月に博士号も取得、4 月 1 日から JX 金属へ入社し、その活躍が期待されています。



発表を熱心に聴き入る
大井社長

大井滋社長に CEO プログラム研修生として受け入れられた高橋朝晴さんと 2018 年度の CEO プログラムを終えての感想をお聞きしました。

<CEO プログラム研修生の高橋朝晴さんに関して>

好奇心旺盛な好青年で、未だ模索中かもしれないが、価値観や人生観についての自身の考え方がある程度固まっている、つまり振れない判断軸を持っている。

従って、一度立てた目標/Goal は何が何でも達成するという強い意志がありたとえ困難が伴おうとも、周囲のアドバイスを生かしながら初志を貫徹する実行力がある。

つまりは、好奇心があるから、創意工夫する懐があるから、文系、理系に拘わらず異文化をもその差を理解できる能力を潜在的に持っており、それが彼のコミュニケーション能力の高さに現れていると思われる。

リーダーシップを発揮できるグローバル人材たる素質ありと評価できる。

<第 1 回目の CEO プログラム研修生を受け入れて>

これまでデータサイエンスに関わったことが無い、あるいは理系の科目習得が無くても、先ずは実践から入って、興味を引出し、それを起点に、理論も学ばせながらチャレンジ心を喚起する指導法はデータサイエンティスト要請が急がれる現実に適った手法と評価する。

この成功事例を基に、あるいは失敗事例があればその欠点などを補完した上で、データサイエンティスト養成プログラムの基本形を策定していくといいと感じた。

当社は社内に指導できる人材がいなかったため、外部の卓説した指導者を紹介頂き養成講座的な方法で多人数を同時に受講させた。その結果、成果を出すことができた。

本プログラム参加の各社は高橋さんのような潜在好奇心やチャレンジ心がある若者を社内外で選抜し、同様手法で受講してもらい、卓越した指導者に定期的に指導いただきながら養成していくことが可能かを検討頂きたい。



発表する高橋さんを頼もしく
見つめる社長、指導教官



CEO プログラム実施チーム



発表会出席者集合写真

5月20日には、CEO が認定する研修を終え今後活躍が期待されるデータサイエンティストに贈る 2018 年度「CEO 認定書」授与式と交流会（於：経団連会館）が開催されます。